

訪問看護ハイレベル人材養成研修会報告

木村 浩美

日時:平成28年11月26日(土) 9:00~17:00

場所:ベルサール神田

<午前>

プログラム内容の通りタイトな時間割の中、今後の人口動態や地域の状況を示唆される。各都道府県の地域医療計画へ参画する必要性と、地域ケア等におけるリーダーシップについて指導あり。

在宅医療の動向や現在の医療体制(特に小児医療についての話題提供など)、また他職種を取り込み地域包括ケアシステムへの取り組みについて総合的に情報をもらいグループワークを行う。

- ①九州グループ
- ②自由に移動してグループ

<午後>

東京都の在宅医療と介護に対する取り組みから、地域医療介護総合確保基金等で訪問看護に対する取組事業を紹介される。

医療機関からは、退院支援の取り組み方を紹介される。

看護協会斉藤理事からは、訪問看護師の人材育成や取組に対しての協会のノウハウやスキルなどの説明と支援の提供あり。

最終グループワークでは、妄想地域を設定し、訪問看護師の普及や活動を広げるための計画を作成し、メンバーと共に実際にイメージして予算や実施計画やゴールなどを作り上げた。

そして、最後に1人1人が違うグループメンバーに対してプレゼンを行った。

<今後に向けて>

今回研修会で学んだ情報等を生かし、各都道府県において地域を牽引する訪問看護師を育成する活動を行うことが課題である。

看護協会、県市、医師会と協力し平成29年度に活動を開始できればと考えている。